

目標達成計画

作成日: 平成29年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	年齢も高くなると日々の運動量も減ってきて体も硬くなり 何も無い所でつまずき転倒 骨折寝たつきり状態となる恐れあり。 また、機能が衰え浮腫となっている方もおられる為健康で若々しくなって頂きたい。	・顔手足のマッサージをし、リンパの流れをよくする。 ・手足の運動をゆっくり行い、体の柔軟性を保つ歩行をしっかり行う。 ・外出時お化粧をしたり、清潔感のある服装をし若々しく生き生きとした気持ちを維持する。	・職員とのふれ合いを十分に行う。(マッサージを通して) ・ラジオ体操 転ばん体操 歩行訓練をする。 ・お風呂にゆっくりつかり、体をリラックスさせ疲れ痛みをやわらげる。 ・リンパの流れをよくし 肌つやよくなりお化粧をして外出をしてみる。(気持ちを若くもって頂く) ・介護経過に青ペンでマッサージ部分とその様子記入。	10ヶ月
2	23	ご本人の意向を尋ねてもほとんどの方が職員に言う事もなく毎日を過ごしておられます。 少しでもご自分の気持ちを伝えられ職員も出来るだけご要望に添えるよう努力し利用者様が気持ちよく毎日を過ごして頂けるようにしたい。	・ご自分の気持ちを職員に少しでも伝える事ができる。 ・職員は利用者様の伝えたい事が理解できるようになる。	・毎日一人ひとりの利用者様の表情や言動を観察する。 ・1日1回は利用者様に寄り添いお話をする。 ・毎日介護経過に赤ペンで上記の事を記入し他の職員と共有し利用者様の意向がひきだせれるようにする。 ・意向がわかった時点で職員間で話し合い実行する。	10ヶ月
3					10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。